

価格転嫁の影響による消費マインド低下が深刻化

人材確保難や人件費の増加など山積する問題により先行きは不透明

～景況 DI 値は、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス2.6～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 4月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比115.8ポイント低下のマイナス57.9、前年同月比21.0ポイント上昇のプラス52.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のプラス26.3。非製造業では、DI 値前月比26.4ポイント低下のマイナス10.6、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス36.8。

収益状況 製造業では、DI 値前月比21.1ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス52.6。非製造業では、前月比63.2ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比10.6ポイント低下のプラス21.0。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比36.8ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比同水準のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI 値前月比5.3ポイント低下のマイナス31.6、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比36.9ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比同水準のプラス26.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比21.0ポイント低下のマイナス23.6、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス2.6となった。製造業では、原材料等の納期遅れは改善傾向となりつつあるも、依然として多くの業種で原材料価格の高止まりや電気代などエネルギーコストの増加は続き、収益を圧迫する大きな要因となっている。非製造業では、年度末需要期であった前月との比較では売上・収益とも大幅に減少。全体的には新型コロナ5類移行によりイベント開催等も増え、人流も活発化するなど、観光関連を中心に消費意欲に改善の動きが見られた。県内景況は、原材料及び電気料金等高騰の影響による経費負担の増加が長引いており、価格転嫁による販売単価上昇の影響により消費（発注）量が減少するなど、業界を問わず消費マインドの低下が深刻化している。加えて、人材確保難や最低賃金上昇に伴う人件費の増加など問題が山積しており、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

4月の全国倒産は、件数610件で、前年同月を25.3%上回り、12カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は2,088億700万円（負債総額1,000万円以上）で、前月比で190件少なく、3ヵ月ぶりに前月を下回ったものの、2ヵ月連続で600件を超えた。不況型倒産の構成比は80.4%（対前年同月5.0ポイント増）を占めた。

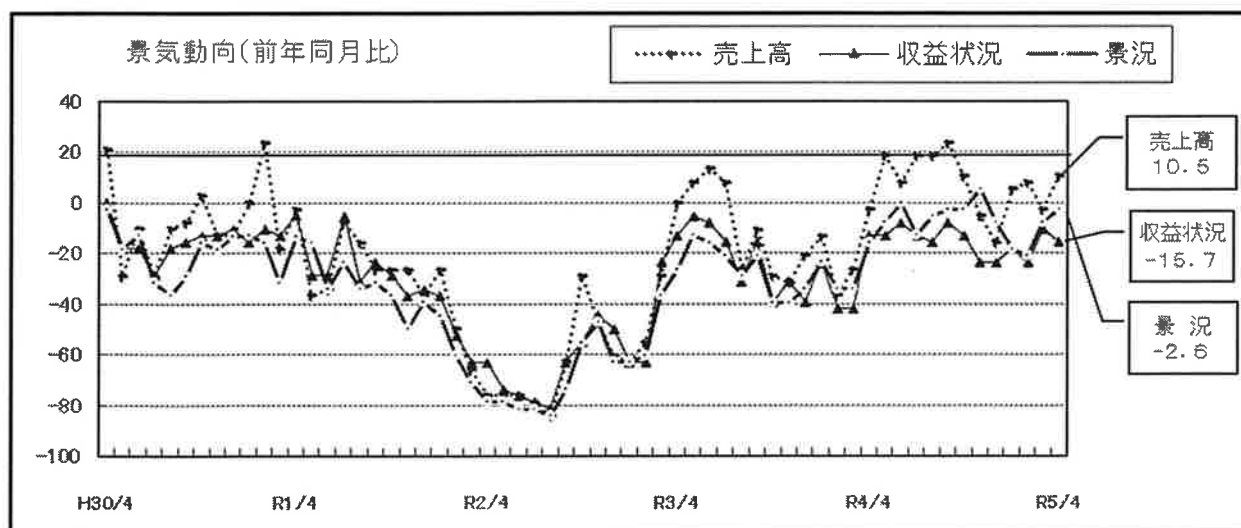
一方、4月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月2件）、負債総額は18億円（前月8,000万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報3月分」）

鳥取県の3月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.51倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.32倍）で、前月と同水準。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.30倍、米子所1.65倍、倉吉所1.74倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.80倍（季節調整値）で、前月より0.24ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比0.5%減少し、有効求人数は1.4%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、宿泊業・飲食サービス業（12.7%）、サービス業（2.4%）、建設業（1.8%）、医療・福祉（0.5%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比2.0%減少、有効求職者数は前年同月比0.9%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.46倍で、前年同月を0.04ポイント上回った。新規求人数は前年同月を1.8%上回った。



4月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	31.6%	-10.5 -10.5	5.3%	63.2%	-57.9 -115.8	13.2%	47.4%	-34.2 -63.1
(2) 在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 5.3	16.7%	16.7%	0.0 -16.7	16.1%	12.9%	3.2 -3.5
(3) 販売価格	15.8%	10.5%	5.3 5.3	10.5%	21.1%	-10.6 -26.4	13.2%	15.8%	-2.6 -10.5
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	2.6%	-2.6 -2.6
(5) 収益状況	5.3%	31.6%	-26.3 -21.1	0.0%	42.1%	-42.1 -63.2	2.6%	36.8%	-34.2 -42.1
(6) 資金繰り	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	0.0%	26.3%	-26.3 -36.8	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1
(7) 設備操業度	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1						
(8) 雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 10.5	5.3%	0.0%	5.3 5.3	5.3%	2.6%	2.7 7.9
(9) 景 況	0.0%	31.6%	-31.6 -5.3	10.5%	26.3%	-15.8 -36.9	5.3%	28.9%	-23.6 -21.0

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	47.4%	-31.6 5.2	57.9%	5.3%	52.6 21.0	36.8%	26.3%	10.5 13.2
(2) 在庫数量	21.1%	15.8%	5.3 15.8	16.7%	8.3%	8.4 -8.3	19.4%	12.9%	6.5 6.5
(3) 販売価格	42.1%	15.8%	26.3 5.3	42.1%	5.3%	36.8 10.5	42.1%	10.5%	31.6 8.0
(4) 取引条件	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	0.0%	13.2%	-13.2 0.6
(5) 収益状況	5.3%	57.9%	-52.6 0.0	36.8%	15.8%	21.0 -10.6	21.1%	36.8%	-15.7 -5.2
(6) 資金繰り	0.0%	42.1%	-42.1 -10.5	15.8%	15.8%	0.0 -5.3	7.9%	28.9%	21.0 34.2
(7) 設備操業度	10.5%	31.6%	-21.1 -5.3						
(8) 雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	15.8%	21.1%	-5.3 0.0	10.5%	18.4%	-7.9 2.6
(9) 景 況	10.5%	42.1%	-31.6 10.5	31.6%	5.3%	26.3 0.0	21.1%	23.7%	-2.6 5.3

*D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（卵、粉類等）、エネルギー（LP ガス、電気等）価格の上昇、高止まりにより、売上は増加したものの、収益状況は悪化の傾向にある。

醬 油⇒ 価格転嫁により前月比で売上高は増加したものの、在庫数量が前月比、前年同月比ともに増加するなど、商品の値上げによる消費停滞の反動が起こっている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 大型連休前の需要としては例年よりも減少傾向となったが、生産のキャパシティを超える需要をみせた。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 原材料価格において、原価割合の大きい電力費が大幅にアップしており、国内消費が低調な状況のなか運賃等も今後アップが予想され、価格転嫁が追い付かない状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 売上高は前月比同水準となったものの、前年同月比では減少した。新型コロナウイルスの5類移行を契機とした市場の活性化、需要増が期待される。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で増加した。合板の生産量も前月比で増加となった。丸太の出材量は増加してきているが、原木価格は引き続き弱含み。製材品の引き合いは弱く、先行きは不透明。プレカット加工の稼働率は、前月比10%減少、前年同月比5%増加となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 春の需要期を迎えたが、売上高は前月比で減少となった。昨年末の値上げも影響し、取引先からの発注数が減少傾向となっている。

【印 刷】

⇒ 前年同月比で売上は上向いたものの、コロナ禍以前までの水準には戻っていない。経費負担増により収益を圧迫している。値上げの要請はスムーズに進んだが、コストの増加が経営に影響している。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 4月の生コン出荷量は、前月比で約13%減少、前年同月比も約21%減少となった。東部地区を中心に引き合いが極端に弱く、前年割れが続いている。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。こうしたなか若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金 属 加 工⇒ 建築関係は、県内は物件が少なく、県外物件を受注できている事業所は

多忙となっている。機械加工は、工作機械・産業機械関係は好調を維持しており、自動車関係は緩やかながらに回復傾向が見られる。人手不足が深刻化しているほか、最低賃金上昇による人件費の増加や光熱費等高騰の影響により収益を圧迫している。

鉄骨加工⇒ 県内発注の物件量が公共・民間ともに少なく、県内の案件のみを対象としている企業は苦慮している。材料費の高騰をはじめ、溶材など副資材や電気代の上昇など、工場の負担は大きく収益に大きな影響が出ている。顧客からの理解を得て、価格転嫁を十分に行うことが課題となっている。

金属熱処理⇒ 4月に入り受注量は伸びず、前月比、前年同月比ともに減少した。電気、ガス等のエネルギー価格の高騰が収益を圧迫している。顧客である金属加工業の生産活動は低迷しており、自動車や産業機械、家電関係部品も顕著な動きは見られない。

【電気機械器具】

⇒ 資材の調達は波があるものの以前に比べ改善してきている。人員不足は慢性的で受注増加の場合は残業対応に追われている。原材料価格高騰は深刻化しており、収益確保に苦慮している。コロナ禍からの資金繰りは厳しく、回復傾向は見られない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、季節の野菜、果実ともに収穫の狭間であり、生産者の持ち込みが減少したことで取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少している。売上高は、前月比では単価の上昇により減少幅は少なくなったものの、前年同月比では単価の低下により大きく減少した。鮮魚関係では、取扱数量は前月比、前年同月比ともに減少した。売上高は、前月比では単価の上昇がありつつも、取扱数量の影響により減少した。前年同月比では単価の上昇に伴い増加している。旅館、ホテル、サービス業は通常営業となりつつあるものの、単価の上昇が取扱数量に影響を及ぼしている。引き続き人材確保が困難な状況が続いている。

中部地区⇒ 物価高騰等の影響もあり、前年同月比で売上高は増加しているが、仕入れ単価の上昇や経費増が収益を圧迫している。

西部地区⇒ 10月、11月からの食料品、消耗品等の値上げによる影響や電気料金の高騰などもあり、個人の実質手取り額低下に伴う需要減少が懸念される。新型コロナウイルスの5類移行を契機とした対面営業や展示会等が再開されつつある。

水産物⇒ 巻き網は上旬に時化が続いていたものの、中旬以降はマイワシの豊漁が続き、冷蔵庫等の設備の稼働、冷凍魚の販売も活発化し比較的好調な月となった。近海物については、ハタハタの不漁が続くも定置網に良質なブリやサワラの豊漁が続いた。紅ズワイガニは水揚げも前年同月比で2割程度増加し、蟹シーズンの終了・輸入ガニの価格低下等の需要供給面に加え、人手不足の要因もあり落ち着いた浜値となった。

リサイクル原料⇒ 価格動向については前月比で横ばい、前年同月比で低下となった。古紙や鉄スクラップ、ペットボトル等資源価格の下落が進行している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、新型コロナの感染状況も落ち着きを見せ、飲食関係は賑わいが戻りつつある。4月下旬には街区を歩行者天国として鳥取市花の祭りを開催。天候には恵まれなかったものの、多くの来場者で賑わった。宿泊についても国内外の観光客、出張が戻り改善傾向が見られる。引き続き光熱費などをはじめとするコストの上昇により景況は厳しい。生活におけるコストの上昇が心理的に与える影響が大きく、一段と消費意欲が減退している。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、新年度を迎え、入学式、入社式など人流が活発となったが、消費行動は上向かなかった。倉吉銀座商店街では、4月上旬に久々に打吹回廊を主会場とし、銀座通りを歩行者天国にして「倉吉春まつり」のイベントを実施。好天に恵まれ盛会となった。また倉吉博物館で開催されている「ヨシタケシンスケ展・かもしれない」とのタイアップの効果もあり約3,000人が来場し、久々に商店街に活気が戻った。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、広場を使ったイベントとして4月下旬に『サンロードマーケット#カレー部』を開催。天候も保ち、300人程の集客となった。境港市の水産物小売では、3月で松葉ガニのシーズンが終了し、4月以降は客単価が低下するため売上高は前月比で減少した。4月上旬までの春休みシーズンの効果もあり、特に週末は観光バスやマイカーで来場する観光客が前年に比べ大幅に増加した。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、天気が良かったこともあり観光客は増加傾向で推移したものの、大型連休の前半は悪天候により予想以上に入込数は減少した。売上高は3月が大幅に増であったこともあり前月比で減少、前年同月比で増加となった。

米子市のホテル・旅館では、4月の年度始めは例年オフシーズンとなるが、前月が非常に好調であったこともあり前月比で日帰り客数は増加となったが、宿泊客数は減少したため売上高は減少、収益状況も悪化した。前年同月比では新型コロナの影響も改善され、全国旅行支援との効果も相まって宿泊客数が増加し、収益状況も好転した。業界全体ではコロナ禍以前には及ばないものの好調の兆しは見られるものの、材料等の相次ぐ値上げにより経営環境は引き続き厳しい。

三朝温泉では、春休み期間であった3月と比べると4月は大きく客数が減少した。大型の旅館では団体の動きもあり4月以降も好調を維持した。全体的にはコロナ禍以前の状況には至っておらず、引き続き厳しい。

羽合温泉では、新型コロナの5類移行の決定や全国旅行支援の延長もあり、前年同月比で宿泊者数が増加したものの、コロナ禍以前と比較すると約3割の減少となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて1,902台で前月比が約51%減少、前年同月比は約8%の増加となった。中古車は793台で前月比約9%減少、前年同月比は6%の減少となった。継続検査（軽自動車を含む）は14,533台で前月比が約41%減少、前年同月比は約1%の増加となった。新車は需要に供給が追いつき、増加となった。

【建設業】

⇒ 3月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額101億円(前年同月比42.1%増)、件数134件(前年同月比4.3%減)となった。年度累計(令和4年4月～令和5年3月)は、請負金額777億円(前年同月比19.6%減)、件数1,569件(前年同月比8.7%減)となった。住宅投資は、単月、3ヵ月平均ともに前年同月比で減少。設備投資は大型案件が押し上げ単月、3ヵ月平均ともに大幅に増加となった。公共投資は県などが押し上げ、単月で前年同月比が大幅に増加した。建設資材やエネルギー価格の高騰が継続に加え、技術者の人手不足による工事の進捗遅れや受注を受けられない状況が発生している。

3月の鳥取県新設住宅着工戸数は177戸(持家129戸、貸家48戸)で、前月比9%増加、前年同月比35%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 4月の物流は、製造業等の出荷量は生産調整などもあり物流の減少が見られ、荷動きは低調な状況が続いている。復路荷物の情報量も少なくなってきたおり、空車で帰る車両も見られ効率の悪い運行が続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少傾向が見られ、燃料価格の高値が続き厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については、前月に引き続き増加し、2ヵ月連続の増加となった。荷主状況は食品関連を中心に大型連休に向けた増産体制もあり前年同月比で増加となった。2024年問題や人員不足、燃料の高騰など業界を取り巻く問題が山積しており、先の見通せない状況が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・コロナ融資の返済期限の猶予措置やさらなる追加融資を求める。また、省エネに対する設備等対策費の支援を望む。【電子部品製造業】
- ・建設関係のPFI事業(民間委託による公共施設等の整備事業)に際し、備品調達に係る契約が大都市圏に流出しているため、積極的に県内事業者との契約を図り、売上の確保、雇用の確保を進める体制整備を望む。【各種卸売業】
- ・新型コロナが5類移行となった今こそ需要喚起につながる経済対策を望む。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・補助金、助成金等の申請手続きの簡素化を望む。【旅館業】
- ・集客につなげるための街並みの整備、飲食店の誘致を進めて欲しい。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売 上 高	製 造 業	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	26.3
	非製造業	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	-57.9	-68.5
	全 業 種	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-21.0
在庫数量	製 造 業	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	5.3	5.3
	非製造業	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	0.0	8.3
	全 業 種	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	3.2	6.4
販売価格	製 造 業	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	5.3	-10.5
	非製造業	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	-10.6	-26.4
	全 業 種	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-2.6	-18.4
取引条件	製 造 業	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	10.5
	非製造業	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	-5.3
	全 業 種	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	2.7
収益状況	製 造 業	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	15.8
	非製造業	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-36.8
	全 業 種	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-10.5
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-5.3
	非製造業	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	-26.3	-21.0
	全 業 種	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-13.2
設備操業度	製 造 業	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-5.3
雇用人員	製 造 業	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	10.5
	非製造業	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	5.3	-10.5
	全 業 種	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	0.1
景 況	製 造 業	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-5.3
	非製造業	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	-15.8	0.0
	全 業 種	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-2.5

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売 上 高	製 造 業	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	0.0
	非製造業	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3
	全 業 種	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	10.5	13.1
在庫数量	製 造 業	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	5.3	10.6
	非製造業	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	8.4	-8.3
	全 業 種	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	6.5	3.3
販売価格	製 造 業	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	26.3	5.2
	非製造業	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	36.8	5.2
	全 業 種	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	31.6	5.3
取引条件	製 造 業	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	10.6
	非製造業	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-21.1
	全 業 種	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-5.3
収益状況	製 造 業	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-10.5
	非製造業	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	21.0	5.3
	全 業 種	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-2.5
資金繰り	製 造 業	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-26.3
	非製造業	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0
	全 業 種	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	28.9
設備操業度	製 造 業	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	0.0
雇用人員	製 造 業	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	0.0
	非製造業	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-15.9
	全 業 種	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-7.9
景 況	製 造 業	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-10.6
	非製造業	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	26.3	36.8
	全 業 種	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	13.1

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化					
製造業	食料品	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0				
	繊維工業	1	1	1	1	2	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1				
	木材・木製品	1	3	0	0	3	1	1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	2	2				
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0				
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				
	化学ゴム																												
業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1				
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	2	0	1	1				
	一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	3	0	1	2	0	2				
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				
	輸送用機器																												
	その他																												
非製造業	卸売業	19	4	9	6	3	14	2	3	14	2	0	18	1	12	6	0	16	3	0	15	4	1	17	1	0	13	6	
	小売業	100%	21.1%	47.4%	31.6%	15.8%	73.7%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	68.4%	31.6%	
	商店街		0	4	2	1	4	1	1	3	2	0	6	0	0	5	1	0	6	0			0	6	0	1	5	0	
	サービス業		0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	建設業		0	2	2	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	2	2	0	2	2			0	4	0	0	2	2	
	運輸業		0	0	5			1	3	1	0	5	0	0	1	4	0	3	2				1	4	0	1	1	3	
業	建設業	1	0	0			0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1			0	1	0	0	1	0	
	運輸業		0	0	2			0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0			0	2	0	0	2	0	0	
	その他																												
業	卸売業	19	1	6	12	2	7	2	2	13	4	0	19	0	0	11	8	0	14	5			1	18	0	2	12	5	
	小売業	100%	5.3%	31.6%	63.2%	16.7%	58.3%	16.7%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	73.7%	26.3%			5.3%	94.7%	0.0%	10.5%	63.2%	26.3%	
	建設業	38	5	15	18	5	21	4	5	27	6	0	37	1	1	23	14	0	30	8	0	15	4	2	35	1	2	25	11
業	建設業	100%	13.2%	39.5%	47.4%	16.1%	67.7%	12.9%	13.2%	71.1%	15.8%	0.0%	97.4%	2.6%	2.6%	60.5%	36.8%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	92.1%	2.6%	5.3%	65.8%	28.9%

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名

回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製造業	食料品	1	0	1	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3
	木材・木製品	0	1	3	0	2	2	1	1	2	0	3	1	0	1	3	0	1	3	0	3	1	0	4	0	0	4
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0
	出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2
	化学ゴム																										
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1
	一般機器	1	1	1	0	3	0	2	1	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1
	電気機器	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
非製造業	輸送用機器																										
	その他																										
	卸売業	3	7	9	4	12	3	8	8	3	0	17	2	1	7	11	0	11	8	2	11	6	1	15	3	2	9
	小売業	15.8%	36.8%	47.4%	21.1%	63.2%	15.8%	42.1%	42.1%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	36.8%	57.9%	0.0%	57.9%	42.1%	10.5%	57.9%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	47.4%
	商店街	3	3	0	1	4	1	3	2	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	1	5
	サービス業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1
	建設業	1	3	0	0	4	0	1	3	0	0	3	1	0	3	1	0	3	1	0			0	1	3	0	4
	運輸業	5	0	0				3	2	0	0	4	1	5	0	0	3	2	0				3	2	0	5	0
	その他	0	0	1				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0
	その他	1	1	0				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	1	1	0	2
その他																											
	19	11	7	1	2	8	1	8	10	1	0	16	3	7	9	3	3	13	3				3	12	4	6	12
	100%	57.9%	36.8%	5.3%	16.7%	66.7%	8.3%	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%	84.2%	15.8%	36.8%	47.4%	15.8%	15.8%	68.4%	15.8%				15.8%	63.2%	21.1%	31.6%	63.2%
その他	38	14	14	10	6	20	4	16	18	4	0	33	5	8	16	14	3	24	11	2	11	6	4	27	7	8	21
	100%	36.8%	36.8%	26.3%	19.4%	64.5%	12.9%	42.1%	47.4%	10.5%	0.0%	86.8%	13.2%	21.1%	42.1%	36.8%	7.9%	63.2%	28.9%	10.5%	57.9%	31.6%	10.5%	71.1%	18.4%	21.1%	55.3%

業 造 製 非

業 造 製